

■用法及び用量

ネオアス注射液	1回体重 1kg 当たり、下記量を1日1~3回皮下、筋肉内又は静脈内に注射する。 牛・馬・豚・犬・猫：0.02~0.05mL
ネオアスP	1回体重 1kg 当たり、下記量を1日1~3回皮下、筋肉内又は静脈内に注射する。 牛・馬・豚・犬・猫：0.04~0.1mL

■効能又は効果

牛・馬・豚・犬・猫：感冒、肺炎、気管支炎等の解熱、鎮痛、鎮咳、去痰

■使用上の注意

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛・馬・豚：10日間 牛乳：36時間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

- 0℃以下で長期間(2~3箇月)保存すると結晶が析出する場合がありますので注意すること。
- 注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①重要な基本的注意

- 本剤は、肝、腎、血液に障害を有する動物に使用する場合には健康状態を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
- 本剤の有効成分であるスルピリン水和物は、実験動物で変異原性及び催奇形作用が認められているので、治療上必要な場合以外は使用しないこと。

②その他の注意

- 本剤を静脈内に注射する場合には、血圧低下を起こすことがあるので、できるだけ緩徐に注入すること。
- 本剤は、筋肉内又は皮下に注射した場合、局所に硬結、神経麻ひを起こすことがあるので投与後、観察を十分に行うこと。
- 本剤をサルファ剤の注射液と混合した場合、結晶が析出することがあるので混合しないこと。

■包装

100mL×10 バイアル

■共済薬価収載

製造販売元

 東亜薬品工業株式会社

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 2-1-11

URL: <http://www.toabio.co.jp/>

販売店

ネオアス注射液

ネオアスP

FOR ANIMAL
NEOAS INJECTION

FOR ANIMAL
NEOAS P

解熱・鎮痛・抗アレルギー剤

ネオアス注射液 ネオアスP 解熱・鎮痛・抗アレルギー剤

家畜の疾病のうちでも感染性の呼吸器疾患は通常よく見られる疾病であり、畜産経営上大きな損失を招いています。しかも、疾病の発症原因の複雑さや症状の多様性から、原因療法は難しく対症療法を余儀なくされているのが実状です。また、単一の症状しか示さない感染性呼吸器疾患においても、その多くは他の症状を内在していることが多く、このような場合には、発熱、疼痛、鼻汁、喘鳴、倦怠感等の症状全般にわたり、総合的に改善を試みる必要があります。このことは二次感染予防の点からも重要です。

ネオアス注射液・ネオアスPは、信頼性の高い解熱・鎮痛・気管支拡張及び抗ヒスタミン作用を有する成分を選択し、これらをバランス良く配合したもので、感冒、肺炎、気管支炎等の呼吸器疾患を総合的に改善します。

成分・分量

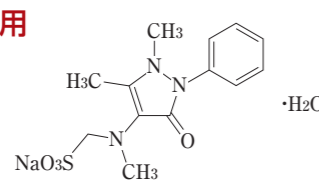
本品100mL中に下記成分を含有する。

成分	ネオアス注射液	ネオアスP
スルピリン水和物	20,000mg	10,000mg
dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩	2,000mg	1,000mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	100mg	50mg

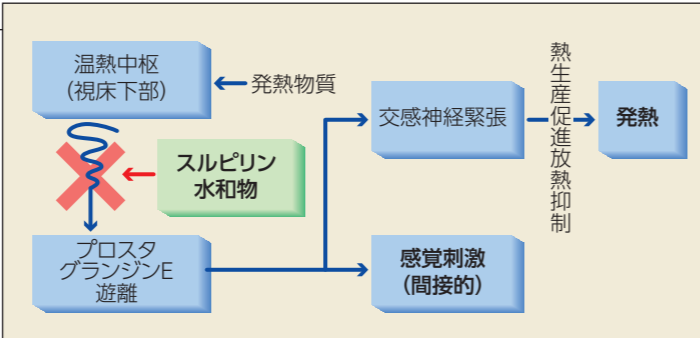
有効成分の薬理作用

スルピリン水和物

● **解熱・鎮痛作用**



解熱・鎮痛・消炎作用を有するピラピロン系化合物でその解熱作用はアンチピリンの3倍、アミノピリンと同程度といわれています。

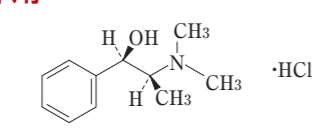


温熱中枢(視床下部) ← 発熱物質 → 交感神経緊張 → 熱生産促進放熱抑制 → 発熱

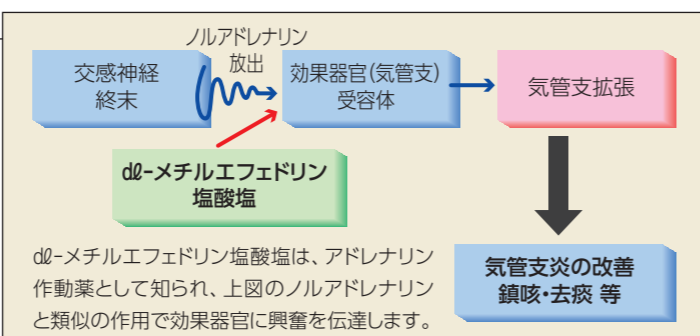
スルピリン水和物 → プロスタグランジンE遊離 → 感覚刺激(間接的)

dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩

● **気管支拡張作用**



気管支拡張作用、鎮咳作用及び抗アレルギー作用を有します。



交感神経終末 → ノルアドレナリン放出 → 効果器官(気管支)受容体 → 気管支拡張

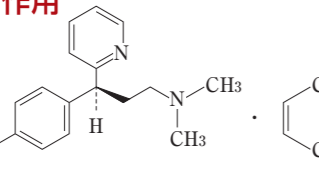
dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩 → 気管支拡張

dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩は、アドレナリン作動薬として知られ、上図のノルアドレナリンと類似の作用で効果器官に興奮を伝達します。

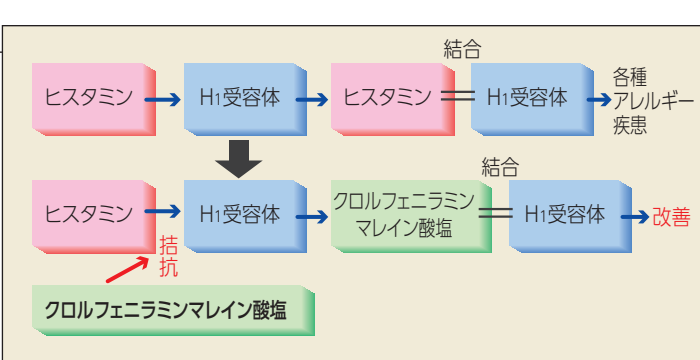
気管支炎の改善 鎮咳・去痰等

クロルフェニラミンマレイン酸塩

● **抗ヒスタミン作用**



強力な抗ヒスタミン作用を有し気管の分泌を減じ、血管収縮作用を有します。



ヒスタミン → H₁受容体 → ヒスタミン → H₁受容体 → 各種アレルギー疾患

ヒスタミン → H₁受容体 → クロルフェニラミンマレイン酸塩 → H₁受容体 → 改善

クロルフェニラミンマレイン酸塩

試験成績

● 牛の呼吸器系および非呼吸器系疾患に対するネオアス注射液の臨床試験

通常環境下で飼育されている呼吸器系疾患と診断された牛76例、非呼吸器系疾患と診断された牛46例の計122症例に対して、ネオアス注射液投与による治療を施し以下の結果を得ました。

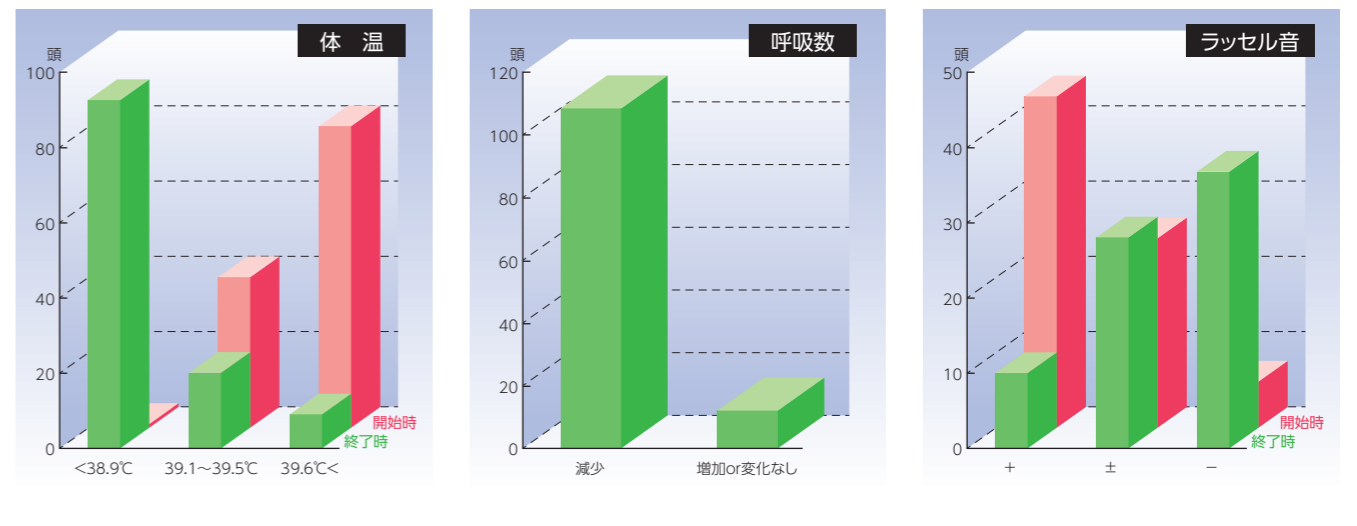
大竹 修、小山秀一、本好茂一ら：家畜診療、352,35-38、(1992)より抜粋

治療法	1回量(体重1kg当たり)	回数/日	投与方法	投与期間
ネオアス注射液	0.05mL	1	筋肉・静脈内注射	1~6日間

単位:頭 ()内は%

結果	著効	有効	無効	悪化	合計
*呼吸器系疾患	56(73.7)	14(18.4)	4(5.3)	2(2.6)	76(100)
*非呼吸器系疾患	39(84.8)	4(8.7)	1(2.2)	2(4.3)	46(100)

*呼吸器系疾患:肺炎および気管支炎 *非呼吸器系疾患:産褥熱、乳房炎、関節炎等



● 豚の呼吸器系および非呼吸器系疾患に対するネオアス注射液の治療試験

通常環境下で飼育されている呼吸器系疾患と診断された豚35例、非呼吸器系疾患と診断された豚31例の計66症例に対して、ネオアス注射液投与による治療を施し以下の結果を得ました。

山本輝次、小山秀一、本好茂一ら：家畜診療、353,29-33、(1992)より抜粋

治療法	1回量(体重1kg当たり)	回数/日	投与方法	投与期間
ネオアス注射液	0.05mL	1	皮下・筋肉内注射	1~8日間

単位:頭 ()内は%

結果	著効	有効	無効	悪化	合計
呼吸器系疾患	29(82.9)	6(17.1)	0(0.0)	0(0.0)	35(100)
*非呼吸器系疾患	31(100)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	31(100)

*非呼吸器系疾患:熱射病、産褥熱等

